

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0066)  
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5

初回作成日: 2019年6月3日  
前回改訂日: -年-月-日  
最新改訂日: 2024年7月12日  
版番号: 第2版

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名(製品番号)	FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)(FG-GD050P) FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5 (FG-GDP-P5)
-----------	--

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細

供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号: 03-3813-0961 ファックス番号: 03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS\*分類

危険有害性項目	危険有害性区分/細区分
物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類できない

2.2 GHS\*ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	
物理的危険性	物理的危険性のある物質又は混合物ではない。
健康有害性	健康有害性のある物質又は混合物ではない。
環境有害性	環境有害性のある物質又は混合物ではない。
注意書き	
安全対策	適当な保護衣、手袋及び眼/顔面用保護具を着用すること。 皮膚及び眼との接触を避けること。
応急措置	眼と接触した場合は、直ちに大量の水で洗い医師の診断を受けること。
保管	特になし
廃棄	内容物や容器を廃棄する場合には、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

2.3 GHS\*分類に該当しない、又はGHS\*で扱われない他の危険有害性

NFPA*の表示システム(0-4)	H(健康危険性): -, F(燃焼危険性): -, R(反応危険性): -, 特定の危険: -
HMIS*の表示システム(0-4)	健康障害の危険: -, 火災の危険: -, 反応性: -, 特定の危険: -

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0066)  
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5

**3. 組成及び成分情報**

**3.1 化学物質・混合物の区別**

単一製品・混合物の区別	混合物（下記を含む水溶液）
-------------	---------------

**3.2 危険有害成分**

	化学名(又は一般名)	化学式又は構造式	CAS*番号	含有率	官報公示整理番号
①	非危険有害性物質	—	N/A	N/A	—

**4. 応急措置**

**4.1 応急措置**

一般的な初期手当	事故が起きた時或いは気分が悪い場合、直ちに医師の手当を受けること。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し安静保温に努めること。 気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	石鹸と大量の水で洗い流すこと。 刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当を受けること。
眼に入った場合	直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗うこと。 刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当を受けること。
飲み込んだ場合	水でよく口の中をすすぐこと。 大量の水で薄めること。 気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。

**4.2 その他の情報** : 特になし

**5. 火災時の措置**

**5.1 消火剤**

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭消火剤など
使ってはならない消火剤	棒状水
火災時特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用すること。
特有の消火方法	移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。 移動不可能な場合には、周辺を水噴霧で冷却すること。 作業は風上から行い、必ず保護具を着用すること。

**5.2 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**

消火を行う者の保護	燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用すること。
予防措置	データなし

**5.3 その他の情報** : 特になし

**6. 漏出時の措置**

**6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

一般的措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入したりしないようにすること。 風上から作業して、風下の人を退避させること。
-------	---

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0066)  
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5

**6.2 環境に対する注意事項**

環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意すること。
回収、中和	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流すこと。

**6.3 その他の情報** : 特になし

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**7.1 取扱い**

技術的対策	屋内作業場における取扱い場所では、全体換気を行うか局所排気装置を使用すること。
安全取扱注意事項	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしないこと。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気、ミストなどを発生させないこと。 使用後は、容器を密閉して保管すること。
衛生対策	取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止すること。

**7.2 混触危険性を含む安全な保管条件**

適切な保管条件	日光を遮断し、冷暗所に密閉して保管すること。
混触危険物質	強酸化性物質、酸化剤等
安全な容器包装材料	ガラス、ポリプロピレン等(密閉できる容器)

**7.3 その他の情報** : 特定の最終用途は、項目 1.2 を参照すること。

**8. 暴露防止及び人に対する保護措置**

**8.1 適切な工学的管理方法**

管理濃度	設定されていない。	
作業環境基準	設定されていない。	
許容濃度	日本産業衛生学会	設定されていない。
	ACGIH* TLV-TWA*	設定されていない。
	OSHA* PEL*-TWA*	設定されていない。

**8.2 設備対策**

設備対策	屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、局所排気装置を設置すること。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その場所を明瞭に表示すること。
------	---

**8.3 個人用保護具**

呼吸用保護具	保護マスクを着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴を着用すること。

**8.4 適切な衛生対策** : マスク等の吸着剤の交換は、定期的又は使用の都度行うこと。

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0066)  
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

外観(物理的状态)	液体
色	無色透明
臭い	弱い特異臭
pH	7~9
融点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重	データなし
溶解性	水と任意の割合で混合する。
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	データなし
危険有害反応の可能性	通常取扱条件において安定。
避けるべき条件	日光、熱、裸火、高温
混触危険物質	強酸化性物質、酸化剤等
危険有害な分解生成物	データなし
推奨用途及び使用上の制限	試験・研究用
その他の情報	特になし

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

危険有害性項目	分類結果
急性毒性	(製品) データなし
皮膚腐食性/皮膚刺激性	(製品) データなし
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	(製品) データなし
呼吸器感作性	(製品) データなし
生殖細胞変異原性	(製品) データなし
発がん性	(製品) データなし
生殖毒性	(製品) データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	(製品) データなし
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	(製品) データなし
誤嚥有害性 (吸引力呼吸器有害性)	(製品) データなし

11.2 その他の情報 : データなし

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0066)  
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5

**12. 環境影響情報**

**12.1 環境への有害影響**

危険有害性項目	分類結果
生態毒性	(製品) データなし
残留性	(製品) データなし
分解性	(製品) データなし
生態蓄積性	(製品) データなし
土壤中の移動性	(製品) データなし
オゾン層への有害性	(製品) オゾン層破壊物質に該当しない。

11.2 その他の有害影響: データなし

**13. 廃棄上の注意**

**13.1 廃棄物処理方法**

製品及び残余廃棄物	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
	なお上記方法による処理が出来ない場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。
	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処分すること。
	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

13.2 その他の情報 : 特になし

**14. 輸送上の注意**

**14.1 国際規制**

国連番号	非該当
国連輸送名(国連出荷正式名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
国際規制	ADR*/RID*(陸上規制)、ADN*(内陸水路規制)、IMO*/IMDG-Code*(海上規制)、ICAO*/IATA-DGR*(航空規制)等の規定に従うこと。

**14.2 国内規制**

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。
注意事項	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。
	転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にすること。

14.3 MARPOL 73/78\* 付属書 II 及び IBC Code\* によるばら積み輸送される液体物質 : 本製品には該当しない。

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0066)  
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5

15. 適用法令

① 非危険有害性物質 (CAS\*番号:N/A、濃度:N/A)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
船舶安全法 (危規則)	非該当
航空法	非該当
港湾法	非該当
道路法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壤汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
<b>廃掃法</b>	<b>産業廃棄物</b>
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

**記載内容の取扱い**

この安全データシートは、日本工業規格(JIS Z 7253:2012)に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。推奨される産業衛生措置 および安全な取扱い方法は、通常取扱いにおいて適用した方が良いと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

**略語**

- ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists): 米国産業衛生専門家会議
- ADN (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Inland Waterways): 危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定
- ADR (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定(道路での危険物の国際輸送に関する欧州協定)
- CAS (Chemical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- GHS (The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- HMIS (Hazardous Materials Identification System): 危険有害性物質識別システム
- IATA-DGR (International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- IBC Code (International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ICAO ((International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- IMDG-Code (International Maritime Dangerous Goods Code): 国際海上危険物規程で定めたコード

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0066)  
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物)用 Plant Buffer P5

- IMO (International Maritime Organization): 国際海事機構
- MARPOL(International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships)73/78: マルポール条約/1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書("MARPOL"=marine pollution/海上汚染)
- NFPA (The National Fire Protection Association): 全米防火協会
- OSHA (Occupational Safety and Health Administration): 米国労働安全衛生局
- PEL (Permissible Exposure Limit): 許容暴露限度 (OSHA が規定する許容限度)、許容暴露限界濃度
- RID (Regulations Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Rail): 欧州危険物国際鉄道輸送規則
- TLV-TWA (Threshold Limit Value- Time Weighted Average): 時間加重平均許容濃度(1 日 8 時間、週 40 時間での労働で労働者に有害影響を及ぼさない平均濃度)
- TWA (Time Weighted Average): 時間加重平均値(通常の1日 8 時間、週 40 時間労働の時間荷重平均濃度)

**引用文献及び参照ホームページ等**

日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン、平成 20 年 10 月

JIS Z 7253 : 2012

日本産業衛生学会 (2010)

ACGIH (2013)

CLP 規則準拠 等・他

以上